とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年12月中旬～下旬
クラス名（年齢）	ばら組（5歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

冬野菜を収穫しよう

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・９月にまいたラディッシュと大根は９月下旬から徐々に収穫することができたが、人参は収穫時期が少しずれていてなかなかできなかった。そんな中、子ども達がっそろそろ人参が収穫できそうなことに気づいた。

2、活動スケジュール

・収穫できそうなものを子ども達と見ながら収穫していく。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・育てている冬野菜を毎日観察できるところに置く

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・ラディッシュと大根の収穫が終わり、残っていた人参を日々観察しながら「まだかな？」と水やりをしながら楽しみにしていた。そんな中、葉がぐんぐん伸びて大きくなっていることや、土をよく見ると人参が見えてきたなどを子ども達が気づき「収穫できそう？」「オレンジ色が見えるからできてるよ」「葉っぱも大きくなったから大丈夫だよ」など子ども達と相談して収穫をし味わうことにした。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
「見て、にんじん抜けた！！」 「すごい小さくてかわいい！」 いつもスーパーなどで見ている人参を想像していたようでその小ささに驚いていた。 「これも抜いて大丈夫だよ、ほら人参がちょっと見えてるもん」 とプランターをのぞきながら２人で相談してたくさん収穫できた。 「葉っぱこんな少しになっちゃった」 「みんなで少しずつ食べよう」 給食室にお願いして茹でてもらった人参をみんなで食べる。 「小さいけど人参の味がする」 「葉っぱも食べられるんだね、おいしいよ」 いつも食べている人参と違うと思いながらもよく味わって食べていた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

冬野菜の種を９月にまき、先にラディッシュと大根の収穫をして食べたが人参はもう少し時間が必要なことを知り、子ども達はいつ収穫できるか観察を続けた。馴染みのある人参だが小さいことに驚いたり、葉を食べて味を知り「葉っぱおいしい」と新たな発見をした子が多かった。１２月下旬に近所の畑で人参を収穫させていただく機会があり、そこでの人参の大きさにも驚き、ますます興味を持ち比較したり味わうことができた。人参ひとつで発見や驚きがある経験ができ、保育士も育て方など勉強になった。